



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第27号
発行日 R7. 9. 19



命を守るために学ぶ

教職員 救命救急研修

先日の「夏休み明け集会」の際、夏休みの間に「先生たちもパワーアップした」ことが校長の話の中で紹介されました（学校だより25号）。児童が夏季休業中の時期は毎年、連日のように様々な研修が行われます。その一つが「救命救命研修」です。本校で自主的に計画し、8月21日（木）午前、全教員で実施しました。つくば市消防本部南消防署の方2名を講師にお招きし、救命処置について、一人ずつ実習を行いながら学びました。心肺蘇生の実習では、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を30回行った後、人工呼吸を2回行う流れを5セット行い、その大変さを実感しました。そして救命処置の手順①周囲の安全確認、②反応の確認、③119番通報、④AEDの手配、⑤呼吸の確認（呼吸をしているように見える「死戦期呼吸」もある）、⑥心肺蘇生、⑦AEDの使用までを実際に行い、もしもの時の流れも学びました。最も大切な命を守るため、本研修は今後も毎年、全員で実施してまいります。

※この他、授業研修や翠輝学園3校の研修、特別支援教育の研修、各教科の研修、各種講演会等、様々な研修が行われました。



命を守るための学び

5年生 心肺蘇生学習

9月16日（火）2・3・5校時、5年生各学級で心肺蘇生学習を行いました。今回、PUSH（プッシュ）と呼ぶ学習プログラムで、「心停止って？」「人が倒れていたら？」「胸骨圧迫をやってみよう」「AEDってなあに？」の流れで学習しました。保健室の佐藤先生が中心となり、平出先生とともに実施。「あっぱくん」というトレーニングキットを用い、胸骨圧迫とAEDの使い方を1時間で効率よく学習しました。初めての体験でしたが、自分の脈をとって心臓の動きを実感したり、心臓の位置を知ったりするところから始め、心臓マッサージも一人一人が実施。その大変さを実感しながら、もしもの時、何をすればよいかを真剣に学びました。いざという時は、まずは近くの大人の助けを呼び、この学びを生かしてほしいと思います。



倒れた人への対応を見る



1分間に100～120回のテンポ

みなみ
掲示板

【「すずし～、気持ちいい～」 暑い中、登校した子供たちに“涼”を】

残暑厳しい9月より、汗をかきながら登校した子供たちのために、大型扇風機で冷気を届けています。熱中症対策として、暑い中登校した子供たちのために、児童用玄関前の多目的室2のエアコンから出てきた冷気を送風しています。登校した子供たちは、扇風機の前に座り込んだり、立ったりしながら、涼んでいます。なお、この扇風機については、先日お伝えした案内板同様、すいハピ事務局に提案して承諾を得た上で、すいハピの予算より購入させていただきました。ありがとうございました。

